

# 木本小だより

令和3年度 第12号  
2021年12月23日発行



## 2学期を終えて



令和3年も残すところわずかとなりました。いよいよ今日は終業式です。学校は、「年度」で数えますので、まだ3か月がありますが、一つの大きな締めくくりの日です。特別なことを考える1日にしてほしいです。今年も、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わり、学校生活に様々な制限があり、子どもたちにも窮屈な思いをさせてしまいました。感染状況が少し落ち着いた2学期の後半、少しずつですが、行事等できるようになっています。それでもまだまだ油断は禁物で、感染予防に努める必要があります。

冬休みは、18日間あります。例年のようにはいかないかもしれませんが、普段できないようなことをしたり、考えないようなことを深く考えてみたり、いろいろ挑戦する機会にしてほしいです。また、大掃除やお正月の飾りつけ等、家事が忙しくなります。子どもたちに家族の一員としての自覚をもてるよう役割を担ってもらいたいと思います。新しい年、元気に登校する子どもたちの姿を楽しみにしています。一年間、ありがとうございました。よいお年をお迎えください。

## 12月10日(金) マラソン大会

マラソン大会がありました。1か月の間、青空タイムに練習を重ねました。当日は、天候に恵まれ暖かい日差しの中、学校の外周を走りました。今年から2学年が同時に走りました。それぞれの学年に応じ1・2・3周を、一人ひとり



りが自分の目標に向かい頑張りました。体調の悪い人も走るのが苦手な人もいましたが、一生懸命に走る姿は、素敵でした。沿道からたくさんのお応援をいただき、ありがとうございました。

## いじめ・体罰調査

いじめ：学期に1回、いじめについてのアンケート調査を行っています。記名式で、その学期を振り返る生活アンケートの中で実施しています。アンケートだけでいじめを把握できるとは考えていませんが、把握の一つの方法にしています。普段の生活を観察することや保護者等と連携することで子どもの実態を知り、変わった様子が見つけられるようアンテナを高くしています。学校生活の中で子どもたち同士の関係には様々な軋轢（あつれき）が生じることもあります。重大な事態に至らぬよう、子どもたちが安心安全に過ごせるよう取り組みますので、ご理解ご協力をお願いします。



体罰：いじめ調査と同様に学期に1回行っています。校長自身が教室に行き説明をし、記入をしてもらっています。自分と友だちが体罰の被害を受けていないかを問うアンケートです。何か変わった様子があれば聞き取る予定にしていますが、現在体罰については認知をしていません。教員による体罰は、「子どもへの人権侵害であり、子どもの健やかな成長を阻害するもの。体罰による教育効果はなく、むしろ悪化をさせる。」という認識の下、指導にあたっています。ご理解ご協力をお願いします。

## 12月17日(金) 「避難訓練」(火災想定)

火災を想定した「避難訓練」を実施しました。非常ベルのけたたましい音と、家庭科室からの出火を知らせる校内放送で訓練は始まりました。今回は、子どもたちの避難と同時に、教職員の初期消火、通報訓練も実施しました。4・5年生の子どもたちは、担任が初期消火にあたったので、自分たちだけで逃げました。たいへん落ち着いていました。避難の後、消防署の方から真剣に訓練に取り組んだことを褒めていただきました。また、火災で一番怖いのは、「煙」なので、火から逃げるときは、口元をタオルなどで押さえ、なるべく低い姿勢で逃げるといいことを教わりました。そのあと、「煙



No.12

ハウス」で、実際に煙の中を逃げる体験をしました。今の季節、暖房器具からの出火が多いので注意が必要なことも教わりました。おうちでも火災の怖さについて、話し合っていたいただきたいと思います。

## 12月3日(金) 木中への避難行動実施

12月3日(金) 午前9時28分頃、熊野市に震度4の地震が発生しました。ちょうど、マラソンの試走の1時間前で、そろそろ準備にかかろうとした時のことでした。職員室の中に備えられた緊急地震速報の装置から「小さな揺れがきます」と流れた後、実際に揺れがきました。2階では、それほど大きな揺れは感じませんでしたが、3階では机の下にもぐるなど、子どもたちの迅速な避難行動が始まっていました。「揺れが収まったら、てんでんこに木中へ」は、職員、子どもたちにしみついていますので、外への避難が始まりました。木中へ向けて走り出しそうな子もいましたが、揺れの程度から、グランドへの避難を指示しました。混乱なく、グランドで全員の避難が確認されたその直後、Jアラートから、「津波のおそれがあるので、海辺からなるべく遠いところへ避難しましょう」という放送が聞こえました。それでも、内心「この揺れなら津波は大丈夫だろう」という思いとマラソンの試走の予定があり、警察署の方や保護者の方が集まってくれる時間が迫っていることもあり、「避難行動の終了」も頭をよぎりました。しかし、大人の都合で「避難行動」を止め、教室へ戻してしまうことは、せっかく今まで積み上げてきた防災教育の成果を無にしてしまうような気もしました。先日の土曜授業で訓練をしたこともあり、より子どもたちの気持ちが、「木中」に向いているのも感じました。少し迷いはありましたが、木中への避難を決定しました。

訓練以上に子どもたちは、真剣でした。おうちの人心配になり泣き出す子もいました。ある教室では、「大丈夫やで、いつもの訓練通りにしたら大丈夫」という1人の子どもの声でみんなが落ち着きを取り戻したという担任からの報告もありました。結果的には、たいへん有効な「避難訓練」となりました。課題もいくつか見えてきたので、今後に生かしていきたいと思います。

※本校の防災マニュアルで、木中へ避難するのは、基本的には「5強以上の揺れ」の場合とあります。しかし、子どもたちに対しては、「大きな揺れを感じたら少しでも高い所へ避難する」ことを伝えていきます。

### ありがとうございました。

木本地区社会福祉協議会の皆さんが、12月6日に学校前の清掃活動をしてくださいました。大変綺麗になりました。



### 新年1月11日(火) 始業式

12月24日(金)～冬休みです。

休み期間中、何かありましたら、

木本小学校(85-2717)までご連絡ください。

なお、12月29日(水)～1月3日(月)の6日間は、学校は閉校となります。

教育委員会(市役所:89-4111)へ、連絡をお願いします。

新型コロナウイルスの感染防止に関わり、冬休み中も検温・記録をお願いしているところですが、休み中に子どもさんの体調等でご心配なことなどありましたら、ご連絡をお願いします。

令和四年 元旦  
瑞祥新春

### 学校ホームページ更新中

子どもたちの学校での様子をホームページに掲載しています。

検索ワードは、「木本小学校」です。